

# 樺名神社社報



## 樺名神社由緒

上野國神名帳根郡の部に、倭命は從一位宝高明神として流傳の栗林に鎮坐せられ、昔原道真命は從二位稚根明神として岸原（現在地）に鎮坐されていた。高城から貯内城に移る時に、岩城が享禄三年（一五三〇）沼田鬼賀駕春が幕を勤請して三神を一社に祀つて樺名社と称した。明治四十一年、社の西の勧進（神社・建御名命）を合祀したので御祭神は三柱一座と称せられてい。

この四人の神さまがどのようにして祭られたのか、それは古事記の由ゆにてある通りのとありますからここでは述べません。ここにはその御神として祀られています。氏子の方々に承知して頂けたいと存じます。

樺名神はこの八百島の国のおおきになつてからこの樺山へおおむねな流れました。そのおおきい神としてこの樺山の御神を守り生みになられたと伝えられています。また、神の食事を育てる土壤の神だから守護の神となり、養蚕の神となりました。土地の産業が農蚕から商工へと

## 募 集

### ◎ 雅 樂 楽 奏 者

本経験者歓迎。習得済みあがますので、お申し下さい。

◎ 教導生活の綱領

一、神の恵みと祖先供養とに感謝し  
二、明き醒まことに奉以て祭祀にいそむること  
三、ごくちもとて世をつくり固め成すこと  
四、御心いたててむづ和らぎ

西原新町氏子縦代  
桜木町氏子縦代  
上原町氏子縦代  
材木町氏子縦代  
柳町氏子縦代  
西倉内町氏子縦代  
西原新町参考

西原新町氏子縦代  
桜木町氏子縦代  
上原町氏子縦代  
材木町氏子縦代  
柳町氏子縦代  
西倉内町氏子縦代  
西原新町参考

御菓子司

**まめや**

沼田市昭和通り  
電話 22-2565番

仕出し料理

**味の魚慶**

沼田市樺名町  
☎ 23-0632

当社は沼田氏、真田氏、本多氏、黒田氏そして土岐氏と代々城主の尊崇を受け、本殿は元和元年（一六一五年）、真田伊豆守信幸公の奉築とある。社華麗な桃山文化を代表するもので、内陣軒には真田の家紋（六文銭）が刻まれており、大鳥居の東中には本多伯耆守正永公の奉築とある。明治六年（一八七三年）郷社に列し、昭和三十年（一九五五年）宗教法人となつて以来のこの利根沼田の総鎮守と称せられている。

當社は沼田氏、真田氏、本多氏、黒田氏そして土岐氏と代々城主の尊崇を受け、本殿は元和元年（一六一五年）、真田伊豆守信幸公の奉築とある。社華麗な桃山文化を代表するもので、内陣軒には真田の家紋（六文銭）が刻まれており、大鳥居の東中には本多伯耆守正永公の奉築とある。明治六年（一八七三年）郷社に列し、昭和三十年（一九五五年）宗教法人となつて以来のこの利根沼田の総鎮守と称せられている。

當社は沼田氏、真田氏、本多氏、黒田氏そして土岐氏と代々城主の尊崇を受け、本殿は元和元年（一六一五年）、真田伊豆守信幸公の奉築とある。社華麗な桃山文化を代表するもので、内陣軒には真田の家紋（六文銭）が刻まれており、大鳥居の東中には本多伯耆守正永公の奉築とある。明治六年（一八七三年）郷社に列し、昭和三十年（一九五五年）宗教法人となつて以来のこの利根沼田の総鎮守と称せられている。

當社は沼田氏、真田氏、本多氏、黒田氏そして土岐氏と代々城主の尊崇を受け、本殿は元和元年（一六一五年）、真田伊豆守信幸公の奉築とある。社華麗な桃山文化を代表するもので、内陣軒には

真田の家紋（六文銭）が刻まれており、大鳥居の東中には本多伯耆守正永公の奉築とある。明治六年（一八七三年）郷社に列し、昭和三十年（一九五五年）宗教法人となつて以来のこの利根沼田の総鎮守と称せられている。

當社は沼田氏、真田氏、本多氏、黒田氏そして土岐氏と代々城主の尊崇を受け、本殿は元和元年（一六一五年）、真田伊豆守信幸公の奉築とある。社華麗な桃山文化を代表するもので、内陣軒には

真田の家紋（六文銭）が刻まれおり、大鳥居の東中には本多伯耆守正永公の奉築とある。明治六年（一八七三年）郷社に列し、昭和三十年（一九五五年）宗教法人となつて以来のこの利根沼田の総鎮守と称せられている。

當社は沼田氏、真田氏、本多氏、黒田氏そして土岐氏と代々城主の尊崇を受け、本殿は元和元年（一六一五年）、真田伊豆守信幸公の奉築とある。社華麗な桃山文化を代表するもので、内陣軒には

真田の家紋（六文銭）が刻まれおり、大鳥居の東中には本多伯耆守正永公の奉築とある。明治六年（一八七三年）郷社に列し、昭和三十年（一九五五年）宗教法人となつて以来のこの利根沼田の総鎮守と称せられている。

発行人 金子浩隆  
電話 055-265-5555

発行日 平成4年7月1日

さわばめ工守の守護神・商売の護り神へと進んで、広く敬意

樺名神社

役員名簿

22-2211 (H)  
23-1670 (FAX)